

当たり前ではない税と私達の生活

蓮田市立黒浜中学校 二年 赤塚 茉奈

私達が普段の生活で当たり前のようにやっていることは何でしょうか。

道を歩く、その道を歩いて学校に行く、学校で、たくさん勉強をする…。もしも、病気になれば病院に行き、緊急な事故や事件などがあれば、消防車や救急車、警察などが駆けつけてくれる。

このようなサービスが受けられるのを、当たり前だとは思っていませんか。実際、私自身も、当たり前だと思っていました。

私は小学生のとき、学校で、税に関する講演を聞きました。私はその講演で、税が社会の中でどのようなはたらきをしているのかを初めて知りました。それまでは、税についてあまり関心がなく、税にどんな役割があるのかを、知ろうともしませんでした。しかし、その講演をきっかけに、税と私達の暮らしが密接に関わっており、私達の生活が税によって支えられていることを知りました。私達が普段、当たり前のようにしている生活は、税があることによって成り立っているのです。

「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」

この言葉が指す意味が、税について無関心だった私は、分かりませんでした。この言葉は、「私達は、税金があることによって学ぶことが出来ている。」ということを表しています。そして、「これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ」というこの言葉。私達は、未来の日本を支えていかなければなりません。

今、日本では少子高齢化が進み、社会保障の費用を負担する若い働き手が減っていることが問題視されています。そんな今だからこそ、「これからの日本を担う」私達がしっかり社会を支えていくために、私達が税に対する関心を持ち、税と向き合っていくことが大切だと思います。そしてそのためには、税によって支えられている学びに、一生懸命取り組むことも、大切だと思います。

私達が充実した学びを受けられるのも、公共サービスによって安心して生活することが出来るのも、当たり前ではない、「税」があるからなのです。

税は、私達の暮らしを支え、より豊かなものにしてくれます。税というものの存在を、また税によって出来ていることを当たり前と思わず、感謝をして生活し、税に対する関心を、より広げていきたいです。そして、自分自身が働き手となったら、社会を支えていけるよう、努めていきたいと思っています。